

第33回日本環境会議沖縄大会や、2016年10月21日から23日沖縄県うてい ひら（開）かったん。「環境・平和・自治・人権—ウチナーから未来開ちゅん」でいぬテーマさーに、国内びけ—あらん、外国からんうほ—く（多）ぬちゅ（人）ぬめんそ—ち、全体会、む—ち（6つ）ぬ分科会んじ、活発なむんど—（問答）ぬ なさったん。

1.（環境）

ウチナーうていや、1988年に第8回、1996年に第16回ぬ日本環境会議ぬ開催さつてい、くんかい（今回）や3回み—ぬ開催など—ん。第16回ぬウチナー大会うてゆや、軍事基地ぬ・あるくとうや、公共投資ぬたみ（為）に—う（起）くいる環境破壊ぬ問題ぬ・あんど—・でい—ち・指摘さつてい、軍事基地どうきなする（どかせる）くとう、また、循環型社会みざ（目指）する—み—（新）さる産業振興さなや—・でいぬ提案ぬなさったん。あんしが、ありから20年たつちようしが、うちな—うていや、ゆくん—自然破壊ぬすす（進）でい、しま（島）んちゅぬ暮らし—うびや（脅）かする環境汚染ぬん、ぬ—ぬ ていだていん—さららんぐとう、うっちゃん—なぎらつと—ん。

日本政府ぬちゅ—じゅ—く（強）う（押）しすすみと—る 辺野古新基地建設、高江ヘリパッド建設さ—に、ウチナーうていん—とうくに—自然度ん高さぬ、生物多様性いん—まんど—る大浦湾とう—亜熱帯ぬ—むい（森）ぬ—まぎまぎ—とう—く—（壊）さつてい—ちゅん。

土砂採取場所でい—ち—さつと—る 西日本あまくまぬ環境破壊いん—い—ちで—じ（一大事）なくとうやん。なまある米軍基地から—う（起）く—と—る航空機騒音、有害物質からぬ土壌・水質汚染ぬん、オスプレイぬ強行配備—はじみとうし、米軍ぬ運用優先とう、うぬむとう（元）など—る排他的管理権ぬ—あぐとう、ましないるどうくるか、たつたわつ（悪）くなてい—い—じ、島んちゅ（人）ぬ生活環境とう自然環境ぬ—うびやかさつと—ん。

（人権）

わつた—や、ぬ—やかん—まじ、くぬよ—なウチナーぬ—あ（当）た—と—る環境問題や人権問題—る—やるんでい—ち、わか（分）らんと—ならん。軍隊やむとうから人権侵害う（起）くする暴力装置やてい、うぬ—いい（上）に、日米地位協定なかいし、米軍ぬ排他的管理権とう、ふんとうや—うり規制すびち日本政府ぬぬ—んさん（無策）しじやま—ぬたみに、島んちゅぬ権利ぬ—すく（損）な—つと—ん。

1992年ぬリオ—サミットぬきつかけとうなてい、世界ぬ—ちゅぬちや—や、ゆたさる環境うていく（暮）らち、うり—くあ（子）—うまぐあ（孫）んかい—わた（渡）ち—いちゆるくとうどう人権やるんでい—いち、いるんな制度ちくてい—ちゃん。あんしが、ウチナーうていや、生活環境・自然環境ぬ破壊しぬ人権侵害ぬ—な—ひん—すすでい、また、反対運動弾圧するたみぬ自由ぬ制約、どうかつていアセスさ—に、知る権利とう参加権ぬ侵害さつてい、島んちゅぬ—うむ（思）いや—たつびらかさつと—ん。

（平和）

なま、ウチナーや日米同盟ぬ強化ぬ—てい—ち—んでい—さつと—る新基地建設や、2013年ぬ防衛大綱—中期防衛力整備計画うていぬ南西諸島ぬ防衛体制ぬ強化、うぬたみぬ自衛隊配備さ—に、日米両政府ぬ軍事要塞化ぬ—な—か（中）んかい—あん。

ウチナーんちゅや、第二次世界大戦うてい、で—じな地上戦かいあた（当）てい、うぬあと—う（後）ん、アメリカかい直接統治さつてい、日本国憲法ぬ平和主義ぬ適用ん—う（受）きらんぐとうし、米軍基地ひきうきてい—ちやしが、本土復帰さるあと—う（後）ん、うぬ形や変わらん、け—てい悪つくるなど—る。

軍隊しや平和や ち (作) くららんでい いぬくとう、どうーぬ体験し わかとーるウチナーンチュぬ、軍隊ぬ ねーらん、平和な暮らし むとう (求) みーる ぬじゅみ (望) や なま 実現ぬ むちか (難) さぎさ あん。うりだき や あらん、うぬ軍事増強や、攻撃性むつ (持) ちよーる本格的軍事基地建設やてい、憲法9条ぬ平和主義ぬ枠かい絶対 うさ (納) まらんなどーん。

日本政府ぬ いちよー (言) る地理的優位論や なー完全に破綻そーん、うりやか・ウチナー中心なさーに、軍隊かい たゆ (頼) らん 地域全体ぬ安全保障ちく (作) いるたみ、うまんちゅ ぬ じんぶん あちみらん とー ならん。

(自治)

ウチナーや、くぬゆうな政府ぬ どうーかつてい かい ちやー反対そーん。2013年ぬ仲井真知事 (うぬとうちぬ) 辺野古新基地建設するたみぬ公有水面埋立承認や、公約違反やしや まちげ (間違) ーねーらん。ウチナーや、オール沖縄ちくてい うまんかいあち (集) まてい、翁長県政まんなか なち、辺野古新基地建設反対 はじ (始) みとうし、ウチナーうていぬ うふ (多) くぬ課題ぬ改善むとうみ (求) てい ちゃん。

くぬゆうなウチナーぬ かんげー無視する政府ぬ しじやまや、憲法92条ぬ保障そーる地方自治ぬ侵害とう、ウチナーぬ自治権、自己決定権ぬ侵害やん。

国とう自治体や対等協力関係でいいち き (決) みてーる地方自治法ぬ むとう (下) うてい、自治体ぬ かん (考) げー まったち ち (聞) かんふーなー し、自治体や あてーめー、政府ぬんちよーん規制しー ゆーさん米軍基地ぬ建設・提供を強行するくとう、また、なま うくとーる環境破壊とう人権侵害うっちゃん なぎーる くとうや、民主主義国家とうし、いかなしん許さらん くとうやん。ウチナーンチュぬ かんげー くなみとーる 行政ぬ しじやま びけーや あらん、辺野古埋立承認ぬ取消処分かいぬ是正指示ぬ裁判ぬ 高裁判決や、憲法し まむらつとーる 自治権ぬ うーむとう (大本) 揺るがするくとう やぐとう、むる ぬ 自治体 かいん 関係そーる問題やん。

むとうむとう、非植民地化ぬ なーかから 発展しちやる 人民ぬ自決権 (国連憲章第1条、国際人権規約 第1条 (社会権規約・自由権規約共通)) や、なまうてー、政治的・経済的権利とうし国際人権法上確立そーん。米軍基地びけー あらん、琉球弧かいぬ自衛隊配備や、軍事利用ぬ うしちき やぐとう、ウチナーンチュ ぬ 自己決定権侵害するくとう なゆん。

くぬような、米軍基地ぬ集中とう自衛隊配備しぬ軍事要塞化や、ウチナーぬコミュニティー うち や (破) ンてい、経済的どうー立ち ぬ 邪魔などーん。とうく (特) に、ウチナー本島中心なち ち (出) きとーる琉球弧や、ぐな島ぬ あち (集) まとーる島嶼地域かい ちゆぬちやー が うーしえー くるしえー し し (住) まーとーん。うんぐとーる島んかい、まぎ軍事基地ちくいぬ、なままり 自然環境 とう まんじゅーんい (生) ちちちやる しま (地域共同体) ぬ暮らし とう 経済どうー立ち ぬ 邪魔ない るくとう、ゆく わからんとー ならん。

(構造的差別)

くぬような、米軍基地ぬ集中とう自衛隊配備しぬ軍事要塞化、うぬ くとうから うまりていちゆーる 島んちゅ かいぬ人権侵害、自治、民主主義ぬ ねーらん くとうや、高江うていぬ 機動隊員ぬ「土人」発言 からん わか (分) いる ぐとう、琉球処分から なま まり かさ (重) にらつてい ちやる 長にん (年) ぬ 構造的差別ぬ あていからる でいきあがてい ちよーぐとう、うり ねーんなする くとうや、 へー (早) くなー 日本全体ぬしーびちくとう やん。あんしから、くぬ大会うてい や、どうーなーたー 文化 むっちよーる ウチナーが う (受) きてい ちやる 琉球処分からぬ 歴史的不正義 (植民地化) の 問題、うりから また、土地・領域・資源かいぬ権利ぬ さだみらつたる 2007年 ぬ 国連先住民民族権利 宣言かい基づく自己決定権ぬくとう が議論さつたん。くぬ問題や、国連うていや、一定ぬ議論ぬ なさりてい ちやし、国内うていや 充分議論さつてー くーんたる問題やてい、なまから あとうや、日本ぬ近現代史

確かみてい いちがな一 日本全体 さーに 議論ぬ なさりーる びち やん。

2. 放射能公害 また、原発被災者ぬ なまぬ暮らし とう 被災者支援・原子力政策ぬ問題点

ウチナーかいや、原発事故ぬ すぐあとうから、うふおーく ぬ 被災者ぬ放射能被害うす (恐) りて避難しちゃん。うふおーくぬ避難者や、なさらん・ちねー・ぬ・くりさ そーてい、わらびんちゃー ぬち (命) まむ (守) いん でいいち・ウチナーまでい避難しちゃん。くぬ大会うていん、くぬよーな被災さる ちゅ (人) ぬちゃーん うふおーく参加し、なまぬ くち (苦) さ はなし さるくとう、ちゅーじゅーく うきとう (受止) みらんとー ならん。

東日本大震災・原発事故から5年たつちやる 福島第一原発事故や なま (今) ちきてい うさ (収) まらんぐとう、十数万人ぬ被災者ぬ避難生活さんとーならんなどーん。

政府や、原子力緊急事態宣言ぬ むとう (下)、年間20ミリシーベルトを避難指示目安なさーに、放射線障害防止法とう原子炉等規制法むと なちょうる 年間1ミリシーベルトきうーとーる地域かいん避難指示んじゃさん たん。また、政府や なま、避難指示解除さーに、住民ぬ帰還や賠償打ち切り などう 進みーぶさ そーん。放射線ぬ ちゅかい うゆぶする危険性や 科学的に ゆー わからつとーぐとう、政府や放射能公害の実態 ゆう しらびてい、健康被害ふしじゆる たみに 最大限ぬ措置 しーびち やん。

被災者が避難すがやー さんがやー ち きみーるくとうや 避難ぬ権利とうし うむんじららんとーならん。避難さーに ちねー ぬ ゆるがさつとーる 被災者とう 放射線公害全被災者ぬ生存権 とう いむどうする くとう いっぺー いすがつとーん。また、長期退避そうる避難者ふくみてい、避難者ぬ いるいるな 選択ぬ保障などう、住民ぬ健康・生活まむいる たみに 必要な法制度 ちくらんとーならん。福島ぬ事故さーに、避難者、滞在者でいいらん、故郷失なたい、うちかわたい し うみちとう被害うきとーん。被害とういむどうする たみに、うふおーくぬ被災者が訴訟さーに東電や国ぬ責任追及し、どうーな一た一権利とういむどうすんち たちあがとーぐとう、 うまんちゅぬ たしき ぬ むとうみらつとーん。

政府や、原発再稼働、新增設、原発輸出推進そーん。くりや 少数民族とうとうむに 周辺住民ぬ人権侵害とう 環境汚染ぬリスク 外国までいひるぎーるくとうなてい、くぬゆーな くとうや 許さつてー ならん。

3. ちゅいなー ちゅいなー が てーしち (大切) にさつてい、安心し 暮らしりーる しま とういむどうすん。

なままでいぬ話ぬ共通点や、うふさぬ ちゅぬちゃーぬ利益・繁栄なじきてい、いきらさぬ ちゅぬちゃーひていほーりー し、また、うり あてーめー でいいる法律までい ちくとーる とうくるんかい あん。

わつたーや、戦ぬ あとうぬ日本ぬ ちゅぬちゃーが、日本国憲法かい まむらつてい すだ (育) てい ちやる「環境・平和・自治・人権」でい いる 基本的価値、また、うぬ かんげー ぬ むとう (基) などーる「個人ぬ尊厳」でい いる かんげー かいたちむどうてい、たーがら 犠牲なする しーかた や あらん、ちゅいなー ちゅいなーが うむんじらつてい、ぬーぬ しわ (心配) ん ねーらん ぐとう、いちまでいん くらち・いかりーる ゆ (世) ぬなか とういむどうさんとー ならん。あんし、うぬ ゆぬなか ぬ むとう などーる環境 やんたい、ゆぐちやい さんぐとう、くあ (子) うまが (孫) ぬちゃーかい わた (渡) ち いちゅしがる なまぬ わつたー ちとうみ やる。

くぬ大会ぬ かんげーかた むとうなち、以下ぬ提言すん。

1. 政府やウチナーぬ うむい うむんじてい、辺野古新基地建設、高江ヘリパッド建設なま やみらんとー ならん。また、なま からちえーる 米軍基地から うくいる人権侵害 とうみーる たみに、県民ぬ うむい うしぬきてい むつちちよーるオスプレイ どうきなち、世界一 うかーさん でい いらつ とーる普天間基地 たでーま みちりんてい いち アメリカんかい むとうみてい、ウチナーンチュぬ 権利とういむどうする交渉しーびち やん。また、最高裁判所や、憲法92条かい さだみらつとーる自治権ぬ保障かい りっぱ あたとーる判決 んじゃさんとー ならん。
2. 政府や、汚染者負担原則 ぬがーりーる 日米地位協定 あらたみてい、米軍ぬ原状回復義務 さだみらんとー ならん。また、米軍基地からんでい いち うたがーつとーる環境破壊・環境汚染や、うぬあちけー 日米合同委員会ぬ しーぶさかつていーしみらんぐとう、どうーな一たー 自治体とう市民 団体ん 基地かい いっち 調らびーるくとうぬ ないる 立入調査権 かちょうきわる やる。んかし(昔) けー(還) さつたるじー(土地) ん ふくみてい、汚染状況ぬ情報公開 ないるかじり し、島んちゆぬ 知る権利まむらんとー ならん。
3. 政府や、環境とう人権かい影響する事業かい 島んちゆぬ かんげー いりーぬ たみに、情報アクセス権 とう環境影響評価 かいぬ 参加権 ひるぎてい、環境民主主義豊か なする たみぬ法制度ちくらんとー ならん。また、どうーな一たー くる きみーし 邪魔するスラップ訴訟 しみらん対策ん かんげー らんとー ならん。
4. 琉球弧かい ぬ自衛隊配備や、安保法制ぬ むとう、専守防衛ぬ枠から はんりてい、そーむん 軍事基地 なてい、しまぬ環境や自治、コミュニティ やんじゅん。めーにちぬ 暮らしがた たげーに はなしー する 民間交流 ひるみてい いちゆしがる 平和ちくいる んち ウチナーうていや 戦うてい わかたる かんげーやくとう、政府や 琉球弧かいぬ自衛隊配備や なま やみーびち やん。
5. 政府や、放射能被害や まちげーねーらん 公害 んでい いち みとうみてい、ひるく疫学調査、健康 調査 うくなやーい、被害ぬ ちゃぬあたい などーが たしかみらんとー ならん。また、避難者とう 被災者 むる んかい 健康診断うきらち、また、医療費給付、住宅支援ちじ(続)きたい ひる(広) ぎ たい 生存権うむんじーる施策 へーく ひるぎらんとー ならん。また、被災者が訴訟うくち、 どうーな一たー権利 とういむどうすん でい いち 立ちあがとう ぐとう、うふおーくぬ市民や ური 支援さんとー ならん。
6. 政府や、またん放射能被害しぬ人権侵害、環境汚染 うくする 原発再稼働、新增設、原発輸出政策や なま やみてい、なまある 原発ん廃止し、脱原発さんとー ならん。
7. 市民や専門家ぬ ちゃーが、どうーぬ かんげー たげーに はなしする場所ちくてい、民間交流し、 ちゆいなー ちゆいなー が てーしち(大切に) さつてい たーん(誰も) ぬーぬ(何の) しわ(心配) ん さんぐとう く(暮)らさりる しま ちくいる たみに、日本、外国ぬ ちゆぬちゃー とう、 まじゅーん かんげーてい いちゅん。とうくに、なまからぬ ゆ(世) かみてい いちゆる 若むん ぬ ちゃーが 協働 し いちゆし すすみらんとー ならん。